

公益社団法人心の里親会・奨学会事業報告書

平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで

公 1 児童養護施設で生活する児童への支援

1 文通事業

児童養護施設で生活する子どもたちを励ます目的で、札幌市及びその近隣市町村に所在する児童養護施設の子どもたちと文通し、実施に当たり必要な研修を次のとおり行なった。

- 1) 文通を希望する子どもたちと会員が、1対1で、平均1ヶ月1回文通した。

平成 28 年度の文通実施延回数は約 905 回であった。

平成 28 年度は、新たに 8 組の子どもと会員が文通を始め、卒業や退所等により 10 組が文通を終了した。

- 2) 文通した児童養護施設は次のとおり。

札幌南藻園、興正学園、羊ヶ丘養護園、柏葉荘、ふくじゅ園、
天使の園、櫻ヶ丘学園（以下、「児童養護施設」と言う。）

※ 平成 29 年 3 月 31 日現在の文通児童数は 68 人、文通会員数は 60 人

- 3) 文通会員のつどいを次のとおり開催した。

文通の現状について話し合い、学ぶため、「第 41 回文通会員のつどい」を、平成 28 年 8 月 30 日(火)、札幌サンプラザで開催した。会員 55 人、児童養護施設の代表 11 人が参加し、問題点や改善を検討した。最後に、総括発表（会員 7 人、施設代 7 人）を行い成果を分かち合った。なお、その内容を「心の里親しんぶん第 224 号（3 面）」に掲載した。

2 施設訪問事業

児童養護施設が主催する行事に参加し、子どもたちと交流し、その育成に寄与するため「施設訪問」を行った。実施内容は次のとおり。

- 1) 札幌南藻園（7 日間 18 人）

南藻園まつり	9 月 19 日	7 人	クリスマス会	12 月 23 日	2 人
卒園・卒業生激励会	3 月 5 日	5 人	その他	4 日間	4 人

- 2) 興正学園（9 日間 67 人）

新入学児童を祝う会	4 月 17 日	9 人	興正フェスタ	10 月 15 日	32 人
興正学園落成式	10 月 16 日	16 人	その他	6 日間	10 人

- 3) 羊ヶ丘養護園（15 日間 39 人）

家庭塾	6 月 19 日	1 人	7 月 10 日	1 人	8 月 28 日	2 人	10 月 4 日	2 人
-----	----------	-----	----------	-----	----------	-----	----------	-----

- 施設見学会 6月24日 7人 園内祭 9月10日 7人
 60周年行事 10月30日 4人 クリスマス会 10月25日 4人
 その他 7日間 11人
- 4) 柏葉荘 (3日間 16人)
 柏葉まつり 9月3日 10人 その他 2日間 6人
- 5) ふくじゅ園 (4日間 19人)
 交流会 10月15日 6人 キャンドル礼拝 10月23日 9人
 その他 2日間 4人
- 6) 天使の園 (3日間 24人)
 エンゼル祭 9月22日 7人 メモリアルデイ・交流会 11月23日 8人
 卒・退園式 3月20日 9人
- 7) 櫻ヶ丘学園 (1日間 33人)
 奨学金授与式・交流会 7月16日 33人

3 家庭実習事業

- 1) 平成28年度は、文通会員宅に文通児童が宿泊して行う家庭実習は行わなかった。
- 2) 児童養護施設の小学生が、次のとおり、会員宅で一泊二日間のお泊り会を行った。
- 8月8日(月)、9日(火)
 ふくじゅ園の4人の児童、先生1人、会員12人が参加
 - 8月10日(水)、11日(木)
 興正学園の9人の児童 先生3人、会員11人が参加
 - 内容 買い物・食事会・レクレーション・絵手紙研修

4 新しい出発を励ます会事業

文通から始まる当法人の支援活動は、奨学金給与や施設訪問活動等を行い、高等学校卒業で終了する。児童養護施設を卒園し就職・進学する子ども(卒業の日まで、この法人の奨学生であった者)を対象に、「新しい出発を励ます会」を開催した。児童のこれまでの苦労と努力を労い、新しい門出を祝福・激励した。内容等は次のとおり。

- 1) 開催 平成29年2月18日(土)、札幌サンプラザで
- 2) 参加 卒業生22人(31人の内9人は入試等のため欠席)、会員等78人
- 3) 内容 来賓祝辞、文通していた卒業生と文会員とのエピソード紹介
 卒業生の今後の進路や決意の発表、卒業生代表の謝辞
- 4) 贈呈 新生活を始めるに当たり必要な品物を、当法人・企業・個人から贈呈した。
 (ストッキング、靴下、マグカップ、歯磨きセット等)
- 5) 卒後支度金給与
 卒業生31人に、1人につき3万円を、新生活の準備金として給与した。

5 小学校入学祝寄贈事業

児童養護施設に在籍中で、平成 29 年 4 月から小学校 1 年生に就学する児童に、通学に必要な品物を寄贈した。3 月 3 日(金)に実施し、内容は次のとおり。

- 1) 寄贈品 通学用の靴、筆入れ、鉛筆、消しゴム、靴下、
- 2) 寄贈数 札幌南藻園 5 人、興正学園 4 人、羊ヶ丘養護園 2 人、
柏葉荘 4 人、天使の園 5 人、櫻ヶ丘学園 5 人 合計 25 人

6 クリスマスプレゼント寄贈事業

児童養護施設の子どもたちの日常生活に必要な品物を寄贈した。
平成 28 年 10 月末、児童養護施設に必要な品物を聞き、1 施設 3 万円の予算で 12 月初旬に次のとおり寄贈した。

札幌南藻園 (DVD プレイヤー)、興正学園 (ボードゲーム、玩具)、
羊ヶ丘養護園 (ボードゲーム、雪遊び用品)、柏葉荘 (ゲームソフト、DVD)
ふくじゅ園 (電子オルガン)、天使の園 (DVD、本)、櫻ヶ丘学園 (DVD)

7 展覧会事業

児童養護施設の子どもたちが、展覧会出品のため作品を制作に努力したり、作文を書きいろいろなことを見つめるなど、展覧会事業参加により、子どもたちが成長することを目的とし、この事業を開催する。併せて、展覧会を通じ、大勢の方に子どもの作品を鑑賞して頂き、児童福祉や子どもの教育について、改めて考えて頂く機会になることを期待する。

平成 28 年度は次のとおり行なった。

1) 募集と応募

平成 28 年 8 月、児童養護施設に、「絵画展及び書道展並びに作文コンクール」の開催及び応募方法を知らせ、次のとおり応募があった。

①絵画展 65 人 ②書道展 33 人 ③作文コンクール 13 人

2) 審査会を開催し優秀作品を選考した。審査員と審査内容は次のとおり。

①絵画展 平成 28 年 10 月 4 日(火)開催。 審査員 角力山 旭 氏
優秀作品 24 点を選考。

②書道展 平成 28 年 10 月 5 日(水)開催。 審査員 大上 凌胡 氏
優秀作品 13 点を選考

③作文コンクール 審査員 朝倉 賢 氏
優秀作品 8 点を選考

選考理由を、展覧会場に掲示した他、「表彰式」で審査員が講評、「心の里親しんぶん第 224 号」に掲載した。

3) 展覧会開催

次のとおり、絵画・書の展覧会を開催した。

- ①平成 28 年 10 月 24 日(月)～26 日(水) 北海道庁 1 階で (入賞作品)
- ②平成 28 年 11 月 1 日(火)～6 日(日) 札幌市地下街オーロラタウン (全作品)

4) 表彰式開催

優秀作品の表彰式を次のとおり開催した。

- ①開催 11 月 12 日(土)、札幌サンプラザで
- ②参加 116 人 (受賞者 44 人 会員他 72 人)
- ③内容 祝辞、入賞者代表の言葉、第一席作文朗読、
- ④入賞者に賞状と楯を、選外の子どもに参加賞 (文房具、筆、原稿用紙、絵具等) を出賞した。

8 広報事業

1) 心の里親しんぶん発行

- ①発行 223 号 (7 月 15 日)、224 号 (2 月 10 日) を、各号 1,300 部づつ
- ②内容 活動内容紹介、実施事業報告、施設紹介、法人からの報告及びお知らせ
- ③配布 公共施設、支援者、他

2) ホームページ

- ①内容 法人紹介、活動報告、
- ②更新 平成 28 年 9 月 <http://satooyasyougakukai.net/>

9 心の里親フェア開催事業

児童養護施設を対象に行っている活動を知らせ、支援を求める目的で、次のとおりこの事業を開催した。

- 1) 開催 5 月 5 日(木)、午前 10 時～午後 2 時 30 分 札幌市民ホールで
- 2) 内容 展示、手作り品販売、喫茶、心の里親しんぶん等の配布、
- 3) 参加 来客等含め約 200 人
- 4) 活動 年間延べ 383 人、1,476 時間

10 活動報告会事業

当法人の平成 28 年の活動を報告し、意見交換を行った。

- 1) 開催 平成 29 年 1 月 24 日(火)、札幌サンプラザで
- 2) 対象 当法人の支援者、当法人の活動に関心がある一般の方
- 3) 参加 97 人

11 奨学金給与事業

児童養護施設で生活し、高等学校等で修学する子どもたちに、奨学金を給与した。子どもたちが、修学に際して負う経済的負担を軽減し、勉強や学校の活動に励み、将来を担う立派な社会人になることを目的とし、次のとおり行った。

- 1) 募集 平成 28 年 3 月 11 日、児童養護施設代表に平成 28 年度奨学生の応募要領を説明。
- 2) 選考 6 月 1 日(水)、奨学金選考委員会を開催、書類審査により応募者 113 人を理事会に推薦。
- 3) 認定と通知 6 月 6 日(月)「平成 28 年度第 2 回理事会」で、奨学生応募者 113 人を奨学生に採用することとし、奨学生応募者に決定通知。
- 4) 採用内容 学校種別は、普通科課程 84 人、高等養護学校 29 人、学年別は、1 学年 46 人、2 学年 35 人、3 学年 32 人、(前年度奨学生の更新者を含む。)
- 5) 奨学生認定式・奨学金授与式開催
 - ①開催 6 月 18 日(土)札幌サンプラザで
 - ②参加 初めて奨学生になった札幌市内と北広島市の児童養護施設の奨学生(37 人)
 - ③内容 会長訓示、奨学生認定書交付、第 1 期奨学金の給与
 - ④櫻ヶ丘学園(仁木町銀山)は、7 月 16 日(土)に当学園で開催
- 6) 中途採用及び辞退
 - ①所定の手続きを経て次のとおり採用した。

12 月 3 人(普通課程 2 人、高等養護 1 人)(1 学年 2 人、3 学年 1 人)
 - ②辞退 児童養護施設から退所により、次のとおり辞退があった。

7 月 1 人、8 月 1 人、11 月 1 人、1 月 2 人 (合計 5 人)
- 7) 給与 奨学金(年間一人 4 万 5 千円)を 3 期に分割し、次のとおり奨給与。
 - ① 第 1 期給与 6 月 18 日(37 人) 6 月 24 日(5 人)、25 日(50 人)

7 月 16 日(櫻ヶ丘学園 21 人)
 - ② 第 2 期給与 8 月 26 日(8 人)、27 日(103 人)
 - ③ 第 3 期給与 1 月 27 日(25 人)、28 日(82 人)、2 月 10 日(3 人)

給与延人数 334 人

収 1 前売券販売

この法人への支援をお願いするため、この事業を行なった。

- 1) 内容 「福祉協賛札幌夏祭り大通ビアガーデン」の前売券販売活動
- 2) 期間 6月1日から8月10日まで
- 3) 対象 個人、団体、企業

(参考)

全事業の活動延人数と活動延時間 (支部活動報告より)

公益事業	1,381人	4,059時間
------	--------	---------